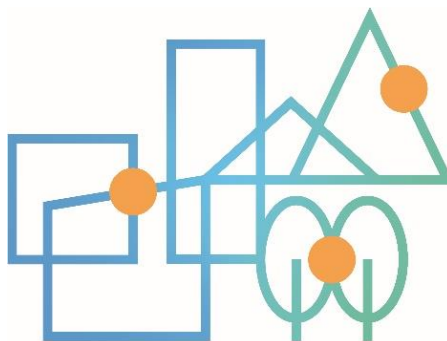


# 「脱炭素先行地域」 補助制度等について



脱炭素先行地域

仙台市環境局

【本事業のお問合せ先】

- 杜の都脱炭素センター
  - ・ホームページ（7月8日開設）  
URL : <http://sendai-zeroarbon.jp>
  - ・コールセンター（7月18日開設）  
電話 : 022-745-2030
- 仙台市 環境局 脱炭素都市推進部  
先行地域推進室 木村、川村  
電話 : 022-214-5377  
メール : zerocarbon@city.sendai.jp

# 目次

- 1. 本取り組みの全体概要（P1～4）**
- 2. 補助金制度の詳細（P5～6）**
- 3. 相談体制・今後のスケジュール（P7～9）**



脱炭素先行地域

# 1-1. 「脱炭素先行地域」の概要

## 制度概要

- 2050年脱炭素社会の実現に向け、先進的に取り組む**モデル地域を100か所創る**国の事業
- **省エネ・再エネ設備を導入し、2030年度までに電気使用によるCO<sub>2</sub>排出実質ゼロ**を目指す

## 仙台市のテーマ

**109万市民の“日常”を脱炭素化** ～「働く人」「暮らす人」「訪れる人」が豊かな時間を過ごせる“新たな杜の都”～

## 対象地域と主な取組

### 定禅寺通（働く・集う）

- 業務ビルの「脱炭素リノベーション」

### 泉パークタウン（暮らす）

- 住宅の「脱炭素リノベーション」

### 東部沿岸（学ぶ・楽しむ）

- 観光の際の**移動手段の脱炭素化**

## 主な参画事業者

仙台市 東北電力 東北電力ソーラーeチャージ NTT東日本 カメイ アイリスオーヤマ  
大成建設 ダイキン工業 みやぎ生協 七十七銀行 三井住友銀行  
三井住友信託銀行 定禅寺通街づくり協議会 定禅寺通エリアマネジメント 東北大学

## モデルの展開イメージ

### ➤ 脱炭素先行地域（紫山3・4丁目）

- ・ 泉パークタウンがもつ**ブランド力（全国的な知名度）・モデル性**
- ・ **住宅のメンテナンスと併せた脱炭素化**（築10～20年が比較的多い）

### 【脱炭素モデル】

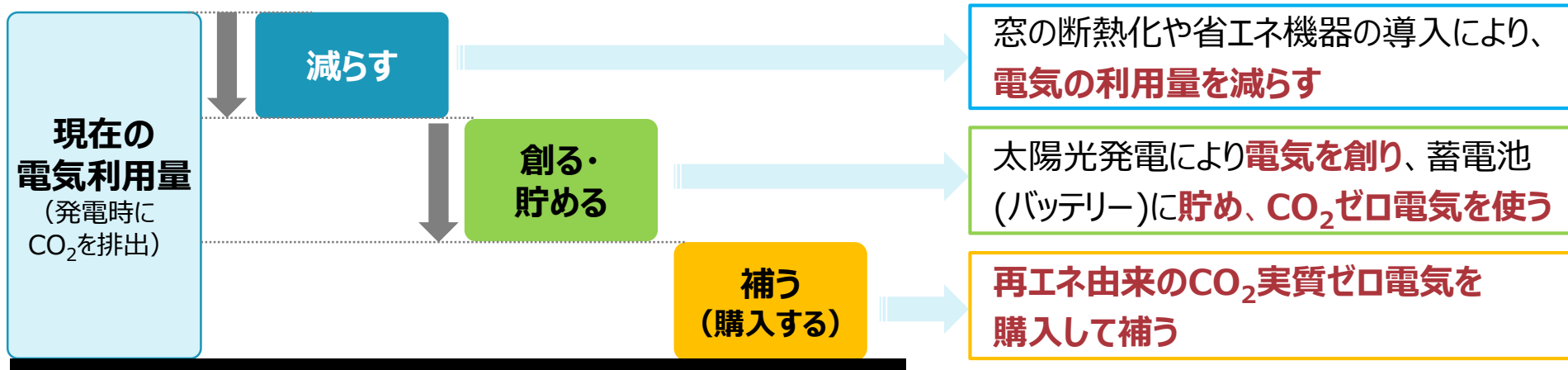
- **環境負荷の小さい暮らしの実現（環境性）**
- **災害時にも使える電源の確保（防災性）**
- **電気料金の削減（経済性）**
- **高断熱住宅で健康的で快適な暮らし（快適性）**



**市内外に展開**

# 1-2. 取り組み全体のイメージ

➤ 電気の利用に伴うCO<sub>2</sub>排出を、以下の方法で実質ゼロにします



## この機会に是非ご検討いただきたいこと

### ① 省エネ・再エネ設備 (太陽光パネル・蓄電池等) の導入

・「購入」または「初期費用ゼロモデル」を選択できます

減らす  
創る・貯める

補助制度を  
活用できます!

### ② 「再エネ由来CO<sub>2</sub>実質ゼロ電気メニュー(再エネメニュー)」への切り替え

補う

・一般的に割高ですが、市と東北電力が協力し、安価なメニューを創設します (参考資料集P3参照)  
(東北電力の従来の再エネメニュー: 通常料金+1.87円/kWh ⇒ 今回創設する再エネメニュー: 通常料金+0.6円/kWh)

### ③ デマンドレスポンス (DR) へのご参加

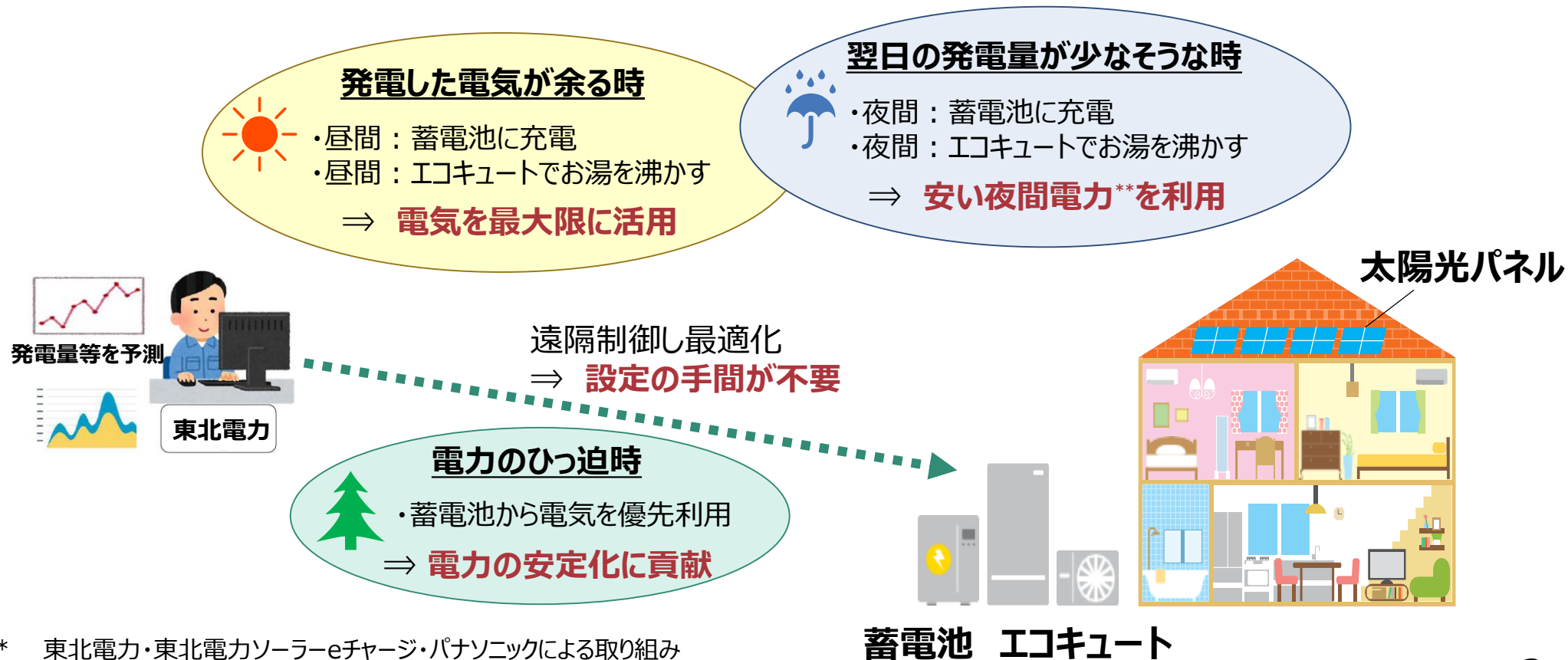
・太陽光発電による電気を無駄なく使うため、東北電力が「ご家庭の設備を遠隔制御」するサービス



# 1-3. デマンドレスポンス (DR) の概要

## 概要

- DRとは、**太陽光発電による電気を効率的に活用する**仕組みです
  - ・「朝日地区」にて実施中の取り組み\*を、紫山3・4丁目に展開します
- **東北電力と契約している方を対象**に、
  - ・東北電力が、ご家庭の電気機器（蓄電池やエコキュート等）を遠隔で制御
  - ・普段どおりの生活で、**太陽光で発電した電気を最大限に活用**でき、**環境と家計にやさしい暮らしとまちづくりを実現**
  - ・参加者には**参加報酬（ポイント等）が付与**



\* 東北電力・東北電力ソーラーeチャージ・パナソニックによる取り組み

\*\* 東北電力「よりそう+スマートタイム」、「時間帯別電灯」契約等の場合



# 1-4. 省エネ・再エネ設備の導入について

補助実施期間	<b>2024年8月1日</b> から <b>2029年3月</b> まで ※ 各年度の補助申請期限は <b>1月</b> (= <b>最終年度申請期限2029年1月</b> )	<b>約5年間の期間限定！</b>
補助対象者	<b>紫山3・4丁目にお住まいの方</b> ※ 設置する事業者による申請の代行も可能です	
<b>基本要件</b> ※他の要件等は、 参考資料集を ご覧ください	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 「再エネメニュー」への切り替え (参考資料集P3~4参照)</li> <li>※ 補助を受けた年度の翌々年度の4月までに切り替えが必要です</li> <li>■ (原則) 2者以上から見積を徴取すること(これによりがたい場合は「理由書」を提出)</li> <li>■ (原則) 補助金交付決定後に契約すること (やむを得ない場合は「事前着手届」を提出)</li> <li>■ 設備の法定耐用年数の期間は使用すること (太陽光パネル：17年、蓄電池：6年 等)</li> <li>■ 市・国の求めに応じて<b>データの提供等に協力</b>すること (太陽光発電量等)</li> </ul>	
設備導入方法	購入 または 初期費用ゼロモデル	

**「初期費用ゼロモデル」(ご自身で設備を所有しない場合)はこのような形で補助します**



## 2-1. 補助対象設備と主な補助要件

国資料等を踏まえた参考価格です。既築住宅の場合、各住宅の状況によって工事費は異なるため、この参考価格より高くなる可能性があります。まずは、各ハウスメーカー・施工店にお問い合わせください

対象設備等	機能・効果	主な補助要件	参考価格
太陽光パネル	太陽光で発電	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 発電した電気のFIT制度による売電は不可</li> <li>■ 発電した電気の使用割合（自家消費率）30%以上</li> </ul>	27.8万円/kW
蓄電池 (バッテリー)	太陽光で発電した電気を蓄える	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 太陽光発電による電気を充電する設備</li> <li>■ 太陽光パネル設置済みの場合、蓄電池のみ設置も可</li> </ul>	18.7万円/kWh
HEMS ホームエネルギー マネジメントシステム	電気使用量の「見える化」や 家電の自動制御を行うシステム	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 発電量・電気使用量データ収集・分析等が可能な設備</li> </ul>	30万円/台
エコキュート	効率的にお湯を沸かす給湯器	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ DRに参加する場合のみ補助対象</li> <li>■ 既設エコキュートの交換も可（既設品よりも省CO<sub>2</sub>効果が得られること）</li> </ul>	55万円/台
V2H ビークル・トゥ・ホーム	電気自動車(EV)等に給電し、 非常時にはEV等から住宅に電力供給できる設備	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ DRに参加する場合のみ補助対象 (2027年度より補助開始予定)</li> </ul>	—
断熱改修	窓及び壁等の断熱改修	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 居間又は主たる居室（寝室は除く）を中心とした改修</li> <li>■ 窓のみ改修の場合、住宅全ての窓を改修すること</li> </ul>	—

※ 設備機能等の詳細要件は、国のルールによります。また、設置工事費等は、国のルールに基づき、必要最小限度の範囲で補助対象になります

※ 太陽光パネルや蓄電池については、**発電量・充電量のデータを1年以上保存できるもの**を導入してください

※ DRへの参加には条件があります。詳しくは本資料のP6をご覧ください



## 2-2. 補助プランの選択肢

**推奨**

### 再エネ有効活用 (DR) プラン

※DRへの参加と東北電力との  
電気契約が必須です  
※DRの制御が可能な機器を  
導入する必要があります

補助対象設備等		補助率	補助上限額
太陽光パネル	必須 (設置済の場合、新規購入不要)	2 / 3	補助上限額なし
蓄電池(バッテリー)	必須 (太陽光パネルとの接続が必須)		
HEMS	必須		
エコキュート	任意 (太陽光パネルとの接続が必須)		
V2H	任意 (太陽光パネルとの接続が必須) ※2027年度より補助開始予定。他の設備と 時期を分けて申請可能		
断熱改修	任意	2 / 3	120万円/戸

### 太陽光パネル・蓄電池 セットプラン

※DR参加なし

補助対象設備等		補助率	補助上限額
太陽光パネル	必須 (設置済の場合、新規購入不要)	2 / 3	合計250万円/戸
蓄電池(バッテリー)	必須 (太陽光パネルとの接続が必須)		
HEMS	任意		
断熱改修	任意	2 / 3	120万円/戸

### 太陽光パネルのみ プラン

※DR参加なし

補助対象設備等		補助率	補助上限額
太陽光パネル	必須	1 / 2	100万円/戸
断熱改修	任意	2 / 3	120万円/戸

※断熱改修のみを実施する場合も補助対象となります

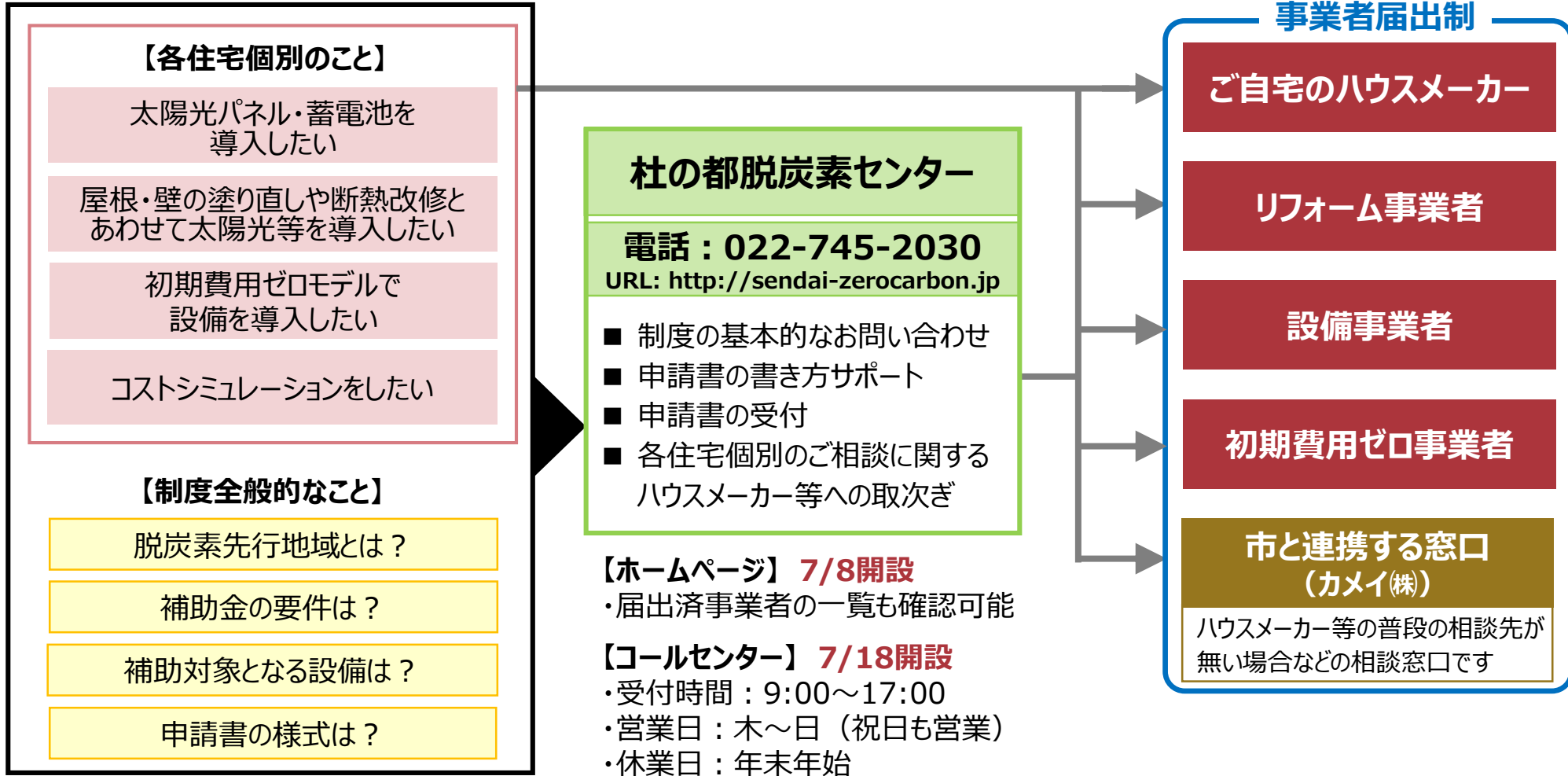
※補助の対象となる設備費・工事費等に対し、表に記載の補助率を適用します





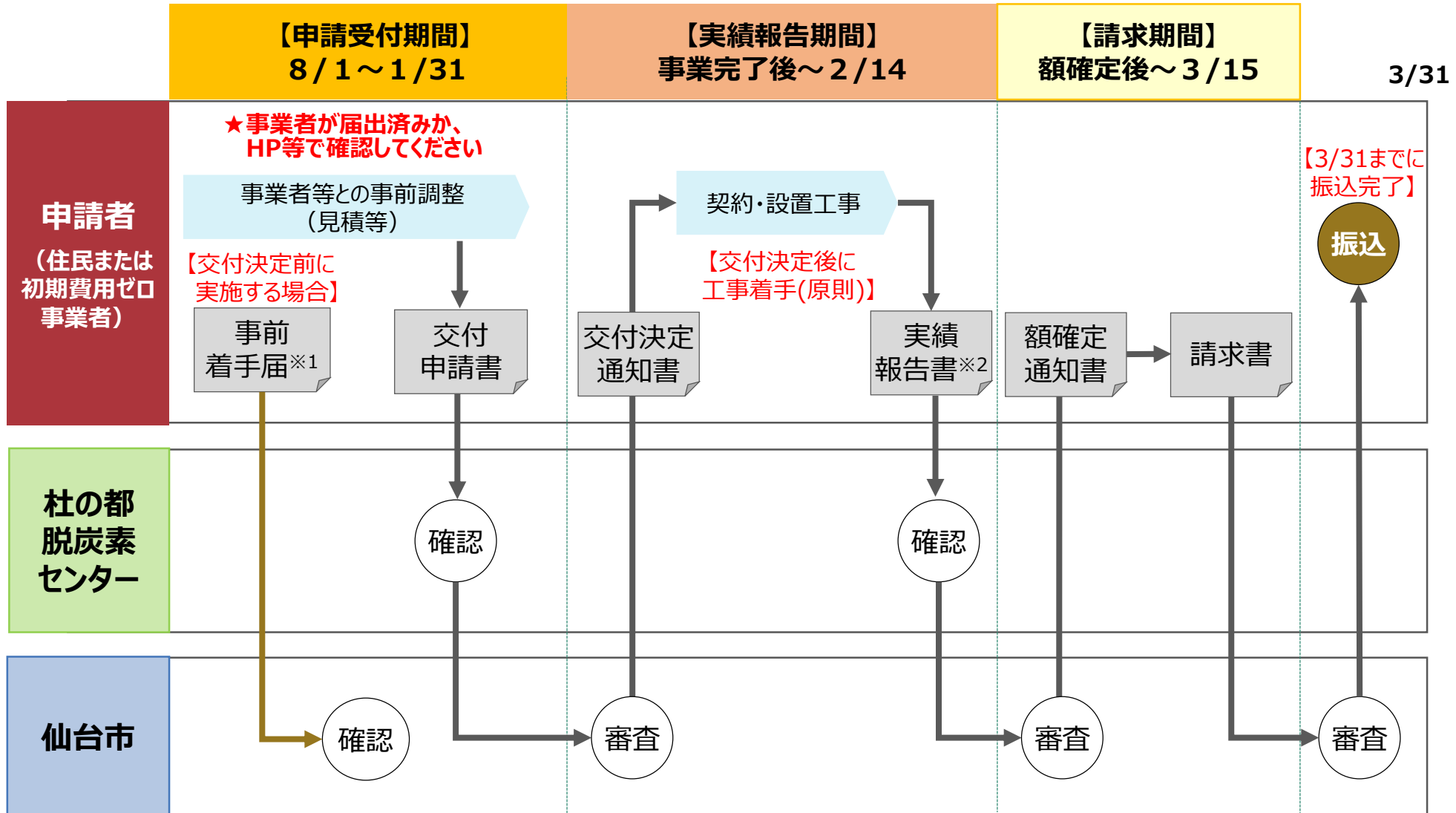
# 3-1. 相談体制・申請窓口

## ■ 杜の都脱炭素センター：住民の皆さまからの相談に対応し、ハウスメーカー・市と連携する窓口



- 市への事前届出がない事業者による設備導入は、原則として補助金対象外となります
- 届け出済事業者かどうか、補助申請前に必ずご確認ください（7月中旬以降に一覧をホームページで公表予定）

## 3-2. 補助金の申請フローとスケジュール（今年度分）



(※1) 事前着手した場合は、可能な限り早急に交付申請してください

(※2) 「再エネメニュー」への切り替えアンケートと、DRの参加申込をしたことがわかる書類(該当者のみ)の提出が必須となります

(※3) 申請手続きを事業者にて代行依頼することも可能です

# 3-3. 省エネ・再エネ設備導入の全体スケジュール（今年度分）

本日  
(6/29,7/2)

8/1

9月頃

1/31

2/14

3/15

住民の  
皆様への  
周知など

**説明会**  
※オンライン同時開催

【説明内容】  
補助金制度の詳細、  
手続き方法など

**現地相談会（複数回予定）**

【内容（案）】  
再エネ・省エネ設備やDRに関する講座、  
ハウスメーカー等による相談会など

**設備導入意向アンケート**

タウンメールにてアンケートを送付  
予定です(オンライン回答可)

社の都  
脱炭素  
センター

**相談・申請窓口の運営開始**

- ・7/8 ホームページ開設
- ・7/18 コールセンター 設置

補助制度

**申請受付期間**  
**8/1-1/31**

**実績報告**  
(事業完了後～  
**2/14**)

**請求期間**  
(額確定後  
～**3/15**)

今年度の  
申請スケジュール

**来年度の補助金**  
2025年4月  
受付開始予定